

ADS

Arctic Data archive System

—北極研究の推進のために—

GRENE-Arctic

NiPR
National Institute of Polar Research

北極域データアーカイブ(ADS: Arctic Data archive System)は北極域に特化したデータセンター基盤として、国立極地研究所に設立されました。ADSでは、北極域において遂行された観測や実験からもたらされた、多種多様なデータを収集しております。これら集められたデータの利用を促進するべく、収集したデータをデータベース化し、ADSによって開発されたアプリケーションを通じて公開しております。このようなデータサービスは、**DMP (Data Management Platform)**と呼ばれ、分野を横断して研究データを流通させ、研究者の連携が促進されることが期待されています。

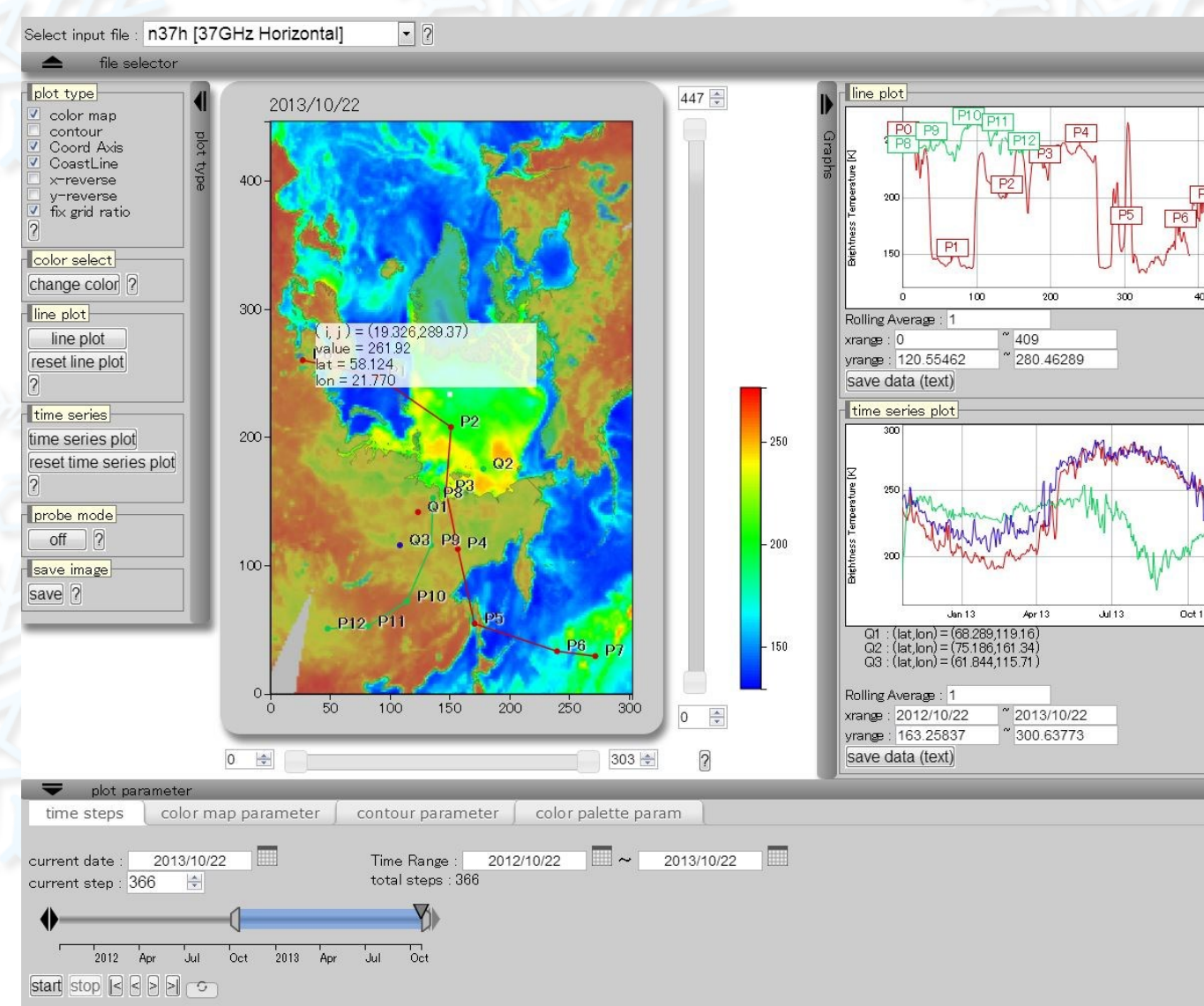
北極域データアーカイブは、GRENE北極気候変動研究事業の一環として平成23年度より5カ年計画で開発を進めている研究基盤です。データベースサーバ等のシステムは、国立極地研究所 北極観測センターで整備が進められています。

極KIWA

極KIWA (Key service for Interworking Arctic data) は、ADSに登録されている多種多様なデータの検索・閲覧・ダウンロード機能を担うWebサービスです。我々は、ADSが保有する様々なデータを他機関のデータセンターとも相互運用(Interworking)できるようにしくみを整えることを目標に開発を進めています。

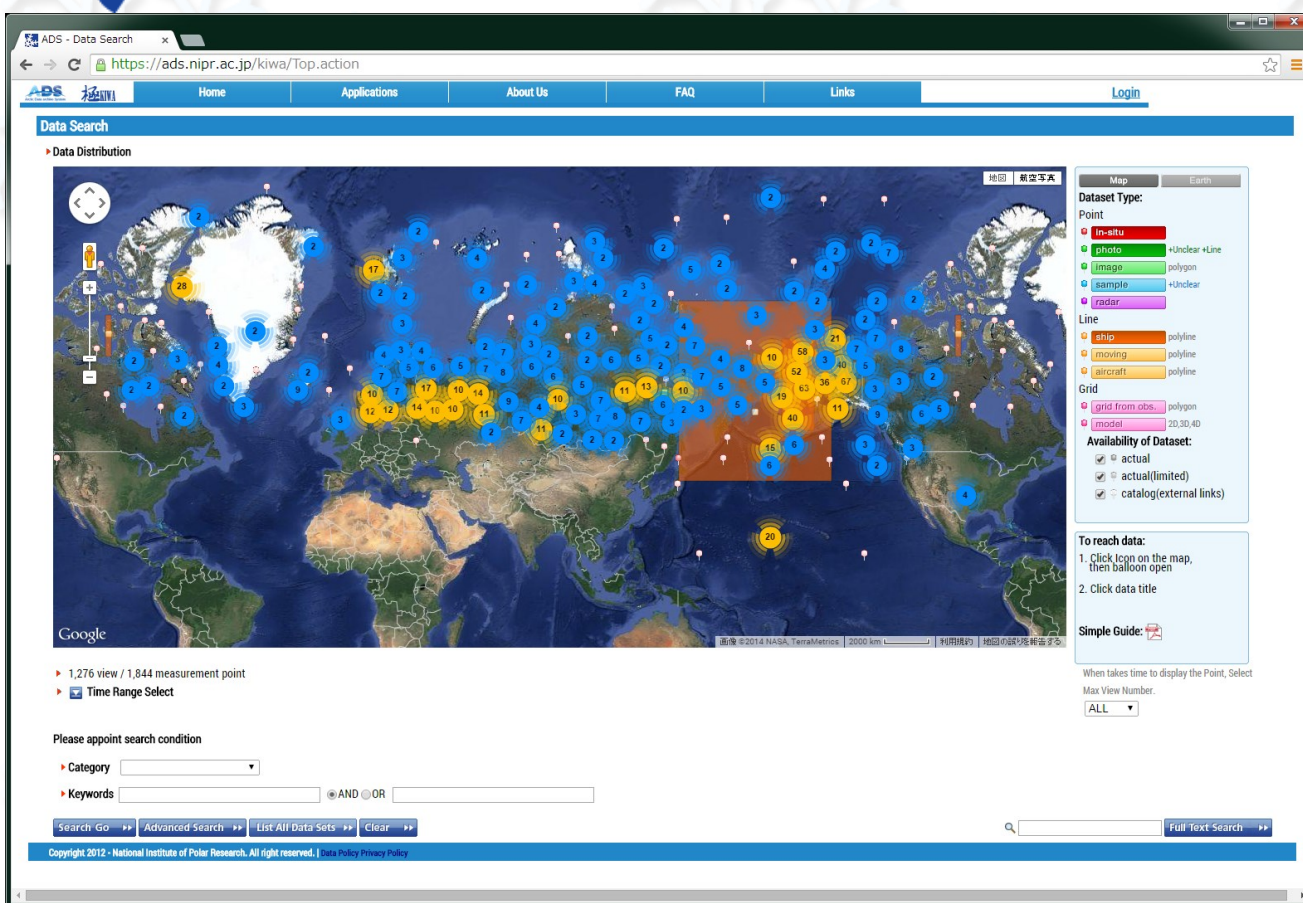
VISION

VISION (VISualization Interactive tool for Online Network) は、分野間でデータの利用を促進するため、直感的に操作可能なオンライン可視化アプリケーションです。定点観測によって得られた一次元データや、衛星観測およびモデル計算によって得られた2D・3Dデータを、ブラウザ経由でデータ解析を行えます。プログラミングすることなく異なるデータを簡単に扱えることを目的に開発されています。



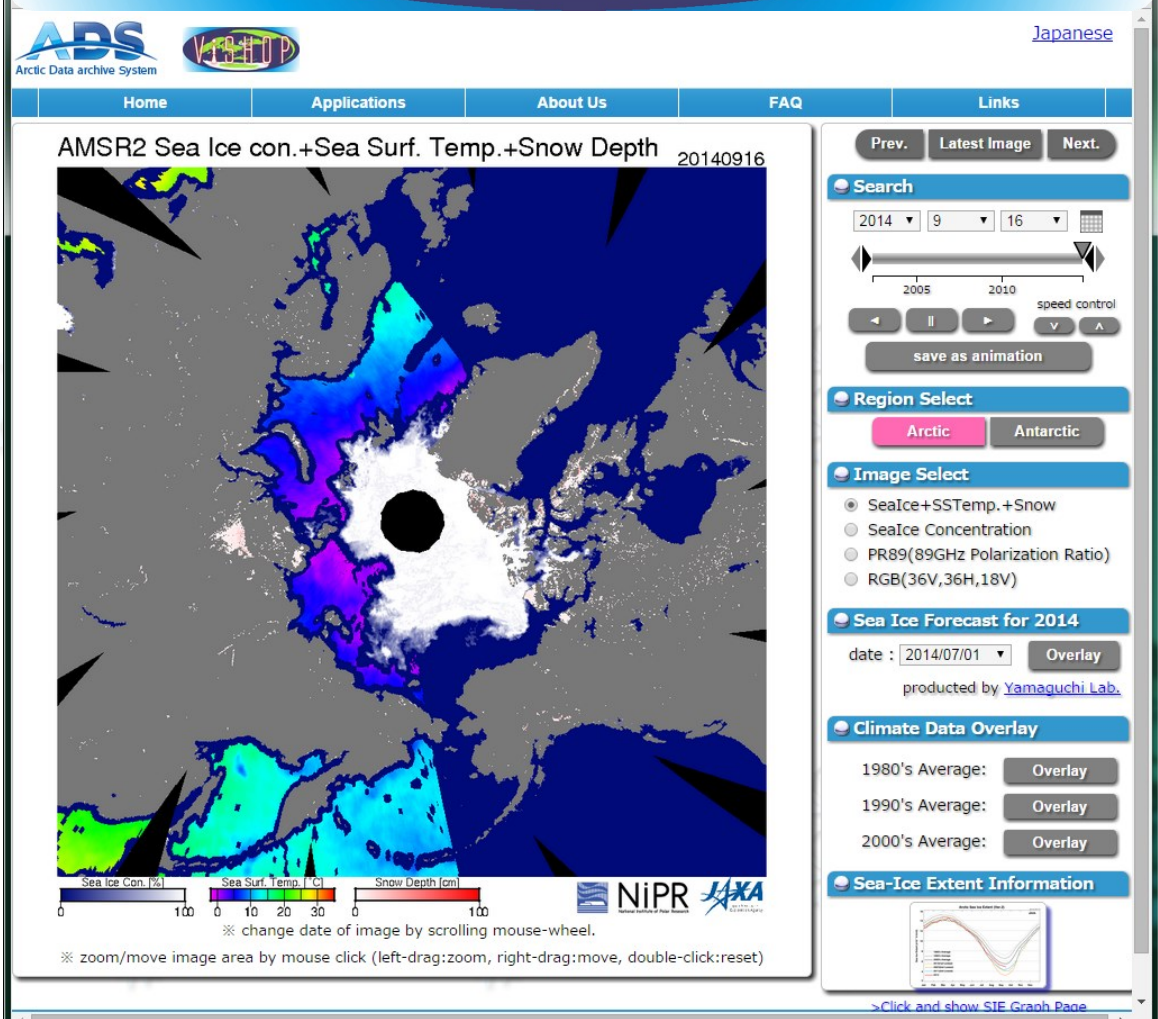
VISIONには次の機能が実装されています。

- 1) バイナリデータの自動読込
- 2) グリッドデータの等高線図
- 3) 矩形選択と選択領域の拡大縮小
- 4) カラーマップの変更
- 5) 指定ラインの断面プロット
- 6) 時系列グラフの出力
- 7) 散布図の出力
- 8) テキストデータの出力
- 9) バンド間の四則演算
- 10) 統計解析フィルター



VISHOP

VISHOP (VISualization Service of Horizontal scale Observations at Polar region)は、準リアルタイムで極域の衛星データを表示する可視化サービスです。極域の状態を素早く配信できることを目的に開発されています。海氷や海面温度、積雪深、雲の動きを可視化し、Webサイトにアクセスするだけで参照可能です。研究者による作図工程を削減させることも目的としています。



ADSのサービスを利用する際に、ユーザーの登録が必要な場合もございます。IDおよびパスワードの発行は以下にご連絡ください。

極地研究所 北極観測センター ADSデータマネジメントチーム

Eメールアドレス ads-info@nipr.ac.jp Webサイト <http://ads.nipr.ac.jp>